

第5学年 音楽「インターロッキングの音楽をつくろう」

音楽の要素を基に、見通しをもった音楽づくりをする。

1 単元について

■目標

○リズムの組み合わせをもとに、音楽の縦と横の関係を生かしながら楽しく音楽づくりをすることができる。

■プログラミング教育の視点

○インターロッキングの音楽をつくりながら、音楽の要素を活用し、つくる過程を楽しむ。

2 指導計画

時間	主な学習活動	プログラミング教育の視点に立った留意点
1	●インターロッキングの音楽の仕組みを知る。 ・「チャ」の言葉を敷き詰めて、言葉遊びをする。	○縦と横の関係を見ながら、言葉を敷き詰めて、言葉遊びをしながらインターロッキングの音楽を体験する。
2	●グループに分かれて、基本の音楽を考える。 ・グループごとに、4つのパートに分かれ「チャ」を敷き詰めて、基本の音楽をつくる。	○4つのパートに分かれて、縦と横の関係を見ながら、言葉を敷き詰め、言葉がかみ合わさった楽しさを学習する。
3 (本時)	●工夫の方法を知り、変化をつけることを決める。 ・強弱やパートの編成を変えるなどの工夫の仕方を話し合う。	○グループで話し合いながら、どのようにしたら音楽の楽しさが伝わるのか、工夫の方法を試しながら考える。
4	●始まり方と終わりを考える。 ・声や楽器や振付けを取り入れて始まり方や終わりを話し合う。 ・リハーサルをする。	○どのようにしたら始まった感じがするのか、終わった感じがするのか作った音楽の見通しをもって考える。
5	●グループで発表する。 ・グループごとに、作った音楽を発表する。 ・互いのグループの表現のよいところや感想などを話し合う。	○グループごとの発表を聴き、音楽の要素を手掛かりによさや面白さを感じ取る。

3 本時について

■目標

○基本の音楽に音楽の要素を取り入れて、工夫する。

■プログラミング教育の視点

○音楽の要素を基に、変化を付けて音楽の面白さを考える。

4 本時の流れ

	●主な学習活動	○支援・留意点 ☆教科等の評価（評価方法） ★プログラミング教育の視点に関わる評価（評価方法）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●前時の振り返りをする。 ●前時作った、基本の音楽をグループで練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各パートで練習をし、グループで合わせて練習をするように伝える。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽の要素を基に、基本の音楽を工夫する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 基本の音楽に工夫をしてみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ●工夫の方法を知る。 ●グループごとに工夫の仕方を話し合い、練習をする。 ●工夫した音楽を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱で学習した強弱やパートの組合せ方を変えて工夫するように伝える。 ○基本の音楽を崩さないように伝える。 ○話し合い活動のルールを確認する。 ○基本の音楽を9回演奏するうちの4回は、変化をつけることを伝える。 ★話し合い活動で音楽の構成を考えながら、音楽をつくる。 ☆音楽の要素を取り入れながら、基本の音楽に工夫している。 ○基本の音楽と工夫した部分を組み合わせて発表するように伝える。 ○どこの部分が工夫されていたところを見つけ、よさや面白さを発表できるように児童に伝える。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●次回の予告をする。 ●次回の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○工夫したことを生かして、始まり方と終わり方を考えることを伝える。